

I 計画策定にあたって

留萌市の農林水産業は、日本海の豊富な水産資源と、留萌川とその支流がつくる肥沃な大地とともに、緑豊かな山々から流れる水の恵みを最大限に活かしながら、市民に安全で安心、新鮮で高品質な「食」を提供するとともに、食品加工業など様々な業種との連携による産業の形成や、健全な食生活を目指す食育の推進など、多岐にわたって重要な役割を果たしています。また、生産活動の場である農山漁村は、国土や自然環境を保全し、その美しい景観は、市内外から訪れる人々にやすらぎや癒しを与えるなど、様々な機能を発揮しています。

しかしながら、農林水産業を支える農業者や漁業者などの減少や高齢化、安い輸入農水産物の増加による国内農水産物の価格低迷、食の安全・安心に関する市民の関心の高まりなどに加え、国の農林水産業に対する政策の見直しと転換、環太平洋パートナーシップ（TPP）協定や経済連携協定（EPA）、自由貿易協定（FTA）交渉の動きなど、本市の農林水産業や農山漁村を取り巻く情勢は厳しさを増しています。

これら情勢の変化や直面する様々な課題などに的確に対応するとともに、これまで本市の農林水産業を支えてきた農業者や漁業者などが、将来に向け自信と希望、そして誇りを持って取り組んでいける産業を目指し、農林水産業の振興を総合的かつ計画的に推進するための政策を戦略的に展開するため、留萌市農林水産業振興基本計画を策定しました。